



2021年4月9日

各位

会社名 株式会社 地域新聞社
代表者名 代表取締役社長 山田 旬
(コード 2164)
問合せ先 取締役管理本部本部長
松川 真士
(TEL. 047-485-1107)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月8日に公表いたしました通期連結業績予想につきまして、修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2021年8月期通期連結業績予想の修正 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,986	△169	△161	△167	円 銭 △90.75
今回修正予想(B)	3,058	△121	△125	△112	△60.86
増減額(B-A)	72	47	35	55	
増減率(%)	2.4	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年8月期)	3,258	△292	△281	△332	△180.26

2. 修正の理由

2021年8月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響の長期化により、「新聞等発行事業」、「折込チラシ配布事業」において、広告出稿の回復に当面の間影響が出ることを鑑みて、2021年1月8日に「通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」において業績予想を修正いたしましたが、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、千葉県知事選挙の実施や大口クライアントの出稿により想定よりも売上高の回復が進みました。その結果、1月単月では「新聞等発行事業」の売上高が112,044千円(計画比98.2%)、「折込チラシ配布事業」の売上高が98,581千円(計画比98.2%)、2月単月では、「新聞等発行事業」の売上高が107,304千円(計画比94.2%)、「折込チラシ配布事業」の売上高が131,249千円(計画比135.3%)となりました。緊急事態宣言解除により経済活動は徐々に回復すると考えられますが、感染再拡大のリスクを抱えており、中小規模事業者の販促需要への影響は第3四半期以降も残ると想定しております。しかしながら、直近の動向から第3四半期以降の売上高については計画値通りで推移すると考えており、連結

売上高は3,058百万円（計画比102.4%）を見込んでおります。また、配布外注費等の適正化、投資予算の見直しを行うことで、販売費及び一般管理費を圧縮し、営業損失は△121百万円（計画値△169百万円）を見込んでおります。さらに、金融関連費用として約13百万円の営業外費用の計上を想定しているため、経常利益は△125百万円（計画値△161百万円）を見込んでおります。また、子会社の一部事業譲渡益として約18百万円の特別利益の計上を想定しているため、親会社株主に帰属する当期純利益は△112百万円（計画値△167百万円）を見込んでおります。

※上記の業績予想は、当社が本資料発表日現在において、入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上